



佐渡

佐渡総局
 〒952-0006
 佐渡市春日 1143-9
 0259(27)4811
 FAX(27)2090
 n-sado@niigata-nippo.co.jp



1mm未満
 5mm未満
 5mm以上
 (数字は予想気温
 日本気象協会新潟支店)



トラックの運転席で死角を確認する児童＝佐渡市吉岡

トラックは縁の下の力持ち

物流学び死角も実感

出真野小で
 真野小で

物流を支えるトラックの役割を学ぶ出前授業が、佐渡市吉岡の真野小学校で開かれた。児童は店頭の商品が並ぶにはトラックがなくてはならないことや、生活と深く関わっていることについて、業界で働く人々から説明を受けた。

5年生の社会科で物流を学ぶため、県トラック協会佐渡支部による授業が毎年、市内の小学校で開かれている。今年で6回目。17日に5年生34人が授業を受けた。

同支部前事務局長で佐渡汽船運輸安全管理室長の祝博之さん(67)が、国内物流の92

%をトラックが担っていることや、トラックが止まったら食料や医薬品、燃料などが手に入らなくなると説明。「トラックはみんなの生活になくはない縁の下の力持ち」と、社会で大切な役割を担っていることを強調した。

中型トラックの運転席に乗り込む体験もあり、児童は視界の高さを確認。一方で死角が多いことも実感し、安全への意識を高めた。

岡崎唯香さん(11)は「家族が通販を使うのでトラックの役割は知っていたが、それ以上にいろいろな物を運んでいることを知った」と話した。

入浴帰り買い物楽々

佐渡市内の温浴施設と移動販売車を組み合わせた、買い物弱者支援の取り組みがことし始まった。グループで温浴施設を訪れた利用者の退館時間に

合わせ、移動販売車が施設に立ち寄る仕組み。日常の買い物に苦労している利用者からは「ありがたい」といった声が上がっている。

温浴施設に移動販売車

ささえあい広場 困難地域を支援

佐渡市では、健康増進を目的とする温浴施設のグループ利用に対し、入館料を補助する事業がある。6月から畑野温泉松泉閣(同市栗野江)を利用しているグループを対象に買い物を支援している。

グループが入浴や食事などを終え、送迎バスで退館する時間に合わせ、総菜や食料品を積み込んだスーパーの移動販売車が松泉閣の入り口に止まり、買い物をしてもらおう。買い物困難地域の人が比較的多い火曜、金曜の午後2時半ごろを中心に移動販売車が立ち寄っている。

関係機関と調整して取り組みを実現させた

送迎バスのグループ対象利用者「助かる」

のは、高齢者の見守りなどをコーディネートしている「ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟」の佐渡拠点である「ささえあい広場」(佐渡市両津福浦2)。

ささえあい広場と松泉閣の運営者が、施設の利便性向上などについて意見交換する中で、利用者の買い物支援が浮上。佐渡で移動販売車「とくし丸」を運営するマルイ(見附市)と話し合い、販売車の移動コースの途上にある松泉閣に立ち寄ってもらうことになった。

ささえあい広場によると、社会福祉協議会主催の健康サロンや地域の団体などそれぞれ十数人の三つのグループが、松泉閣での保養後に移動販売車を活用し、利用者からの評判は上々。利用者たちは松泉閣には送迎バスで行き来しているため、移動も便利だ。

両津地区のグループの一員として松泉閣を訪れ、移動販売車で買い物をした北部の90代女性は「近くに店がないので助かる」と声を弾ませた。マルイの担当者は「少しでも地域の役に立てばうれしい」と語る。

ささえあい広場の生活支援コーディネーター、今山紀行さん(41)は「市内には買い物が困難な地域が多い。取り組みの幅を広げたい」と語った。

写真＝移動販売車で買い物を楽しむ畑野温泉松泉閣の利用者＝佐渡市栗野江



地域ビジネス

Local Business



軽くて丈夫「小麦粉バッグ」

まつはらの家製作 業務用紙袋リメイク

厚手のクラフト紙で作られたエコバッグ。アメリカンテイストでおしゃれな雰囲気。

「持
 およ

サイズはランチバッグ程度のSからA3が収まるLLまで4種。ろう引き

あすから2
 歴史

佐渡市内の観光施設のうち、例年は通年営業している「佐渡西三川ゴールドパーク」「佐渡歴史伝説館」「尖閣湾揚島遊園」は、12月1日から来年2月末まで休業する。ウイルス禍や改修が理由。

西三川ゴールドパークは、既に予約が入っている分については対応する。

島内に技術開発拠点

ITコンサル「ミラクリーフ」

IT関連のコンサルティングなどを手がける「miracleave(ミラクリーフ)」(東京)は、佐渡市に技術開発拠点を設立した。

拠点は、市がことし佐和田地区に設け